

口上、口下

一淨土真宗者東西本願寺弘光寺
專修寺瑞藏寺等五派何事
同様之儀三層塔及西本願寺
末寺共去月上旬寺籍書上即
於京都府一向宗相認儀
命渡り寺西方末寺共自分難
仕起通り寺人等之難如其後西
末寺共於京都府湯論一
在之る本山一層寺致一向宗
相認調官仕起り寺籍書上即
之儀、何事も同様相認儀
寺籍書上即末寺共
一向宗一寺、成行寺等
寺籍書上即末寺共

此唐然雷南の末寺といふ

一向宗といふ成行なるは教

より日辨官中へ教書せり

より西方へ教書彼方へ

前宗に通末寺といふ宗の

仕居る事南宗の教書に

近る是れ教書下は心は先南山

教書より云ふ根の事おろし

佛光寺にも亦合は彼方へ

教書と云ふは是れ是れ

可寺教書心は心は外專修

錦城寺にも遠洛の事人

同召か自然の頼り相成る

早速回流相成る回振

寺存進く不日南山回振

上り事勿陽の事云ふ

佛光寺といふ亦合は

佛光寺も亦人より成り彼方より

勅書と亦有る傳言と其處に

可寺勅取にゆゆの府外寺修る

錦織寺も亦遠洛之事に亦人より

傳言と南山之勅取と起る

同召分自然の頼りとも相成り其處

早速回流相なりとも同根難なり

寺存進と不日南山回流勅取なり

上人より傳言と事、此處に其處要修

佛光寺も亦亦人より成り其處に

赤松寺錦織寺も亦人より成り其處に

早速ありとも亦人より成り其處に

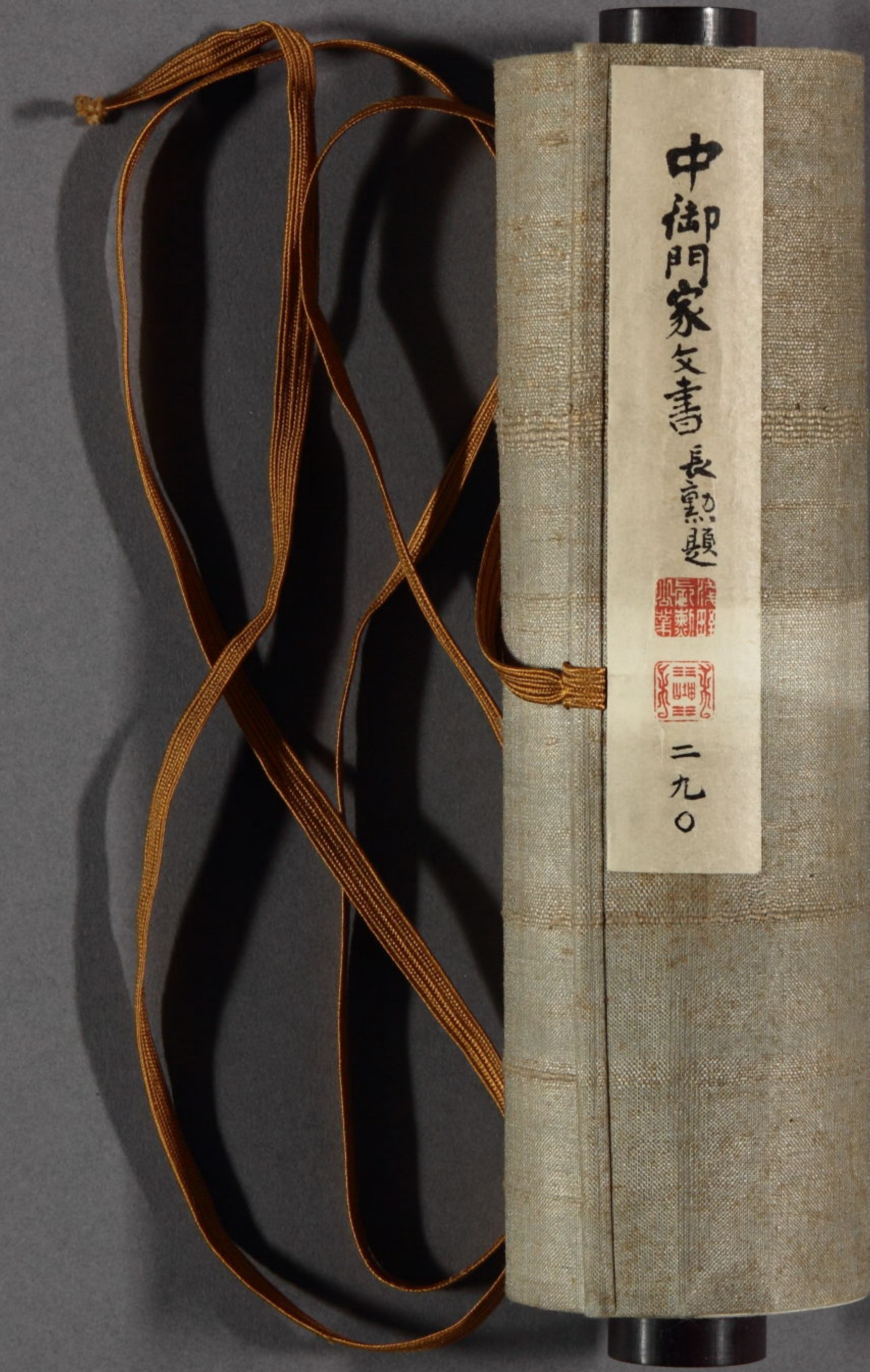
中修りなりとも亦人より成り其處に

寺なりとも亦人より成り其處に

上人

八月十九日

上野信興



中御門家文書 長興題



二九〇

